

目 次

令和元年度の動き	1
I 総 説	
第 1 部 宮崎県の概況	
第 1 章 環境にかかわる県の概況	3
第 2 章 本県の環境の概況	5
第 2 部 宮崎県の環境保全の基本となる条例・計画等	
第 1 章 環境基本条例	8
第 1 節 制定の目的	
第 2 節 環境基本条例の特色	
第 3 節 環境関係条例	
第 2 章 環境計画	12
第 1 節 計画策定の経緯	
第 2 節 計画の性格・役割	
第 3 章 環境保全施策の課題と展開	15
第 4 章 環境影響評価	40
第 1 節 環境影響評価とは	
第 2 節 本県における環境影響評価制度の経緯	
第 3 節 環境影響評価の実施状況	
第 5 章 土地利用・住環境・森林の保全	41
第 1 節 土地利用の適正化	
第 2 節 都市計画による住環境整備	
第 3 節 森林の保全	
第 6 章 県の推進体制	44
第 1 節 行政組織	
第 2 節 審議会等	
II 宮崎県の環境の現況と対策	
第 1 部 地球環境の現況と対策	
第 1 章 地球温暖化	48
第 1 節 温室効果ガス排出の現況	
第 2 節 排出量削減の取組	
第 3 節 フロン類対策の推進	
第 2 部 人づくりの推進	
第 1 章 環境教育・学習の推進	53
第 2 章 環境情報の提供及び普及啓発	55
第 3 章 環境みやざき推進協議会を通じた取組の推進	57

第3部 生活環境の現況と対策

第1章	大気	59
第1節	大気の現況	
第2節	大気汚染の防止対策	
第2章	水質	61
第1節	公共用水域水質の現況	
第2節	地下水質の現況	
第3節	水質汚濁の防止対策	
第3章	河川	86
第1節	生活排水対策	
第2節	その他の河川浄化対策	
第4章	騒音	90
第1節	騒音の現況	
第2節	騒音の防止対策	
第5章	振動	91
第1節	振動の現況	
第2節	振動の防止対策	
第6章	悪臭	92
第1節	悪臭の現況	
第2節	悪臭の防止対策	
第7章	地盤沈下	93
第1節	地盤沈下の現況	
第2節	地盤沈下の防止対策	
第8章	土壌	94
第1節	土壌の現況	
第2節	土壌汚染の防止対策	
第9章	廃棄物	95
第1節	廃棄物の現況	
第2節	広域的処理・4Rの推進	
第10章	化学物質	102
第1節	ダイオキシン類対策	
第2節	その他の化学物質対策	
第11章	その他の生活環境	105
第1節	畜産経営の環境保全対策	
第2節	採石及び砂利採取に伴う災害防止対策	
第3節	休廃止鉱山における鉱害防止対策	
第4節	海洋・漁場汚染防止対策	
第12章	公害への苦情	107
第1節	公害苦情の状況	
第2節	苦情処理の状況	
第3節	公害紛争処理の状況	
第13章	公害防止の取組	110
第1節	公害防止管理者制度	
第2節	融資等	

第14章 公害健康被害	111
第1節 公害健康被害の概要	
第2節 土呂久地区に係る公害健康被害の現況	
第3節 健康被害者の救済	
第4節 土呂久公害の教訓を次世代に引き継ぐための環境教育推進事業	

第4部 自然環境の現況と対策

第1章 野生動植物	118
第1節 植物の現況	
第2節 動物の現況	
第3節 野生動植物の保護対策	
第2章 鳥獣保護	123
第1節 鳥獣保護対策の概要	
第2節 鳥獣保護区の設定等	
第3節 鳥獣の保護増殖等	
第4節 鳥獣の保護管理	
第3章 自然公園	125
第1節 自然公園の現況	
第2節 自然公園の保護と施設の整備	
第4章 環境保全地域の指定	126
第1節 自然環境保全地域の現況と対策	
第2節 緑地環境保全地域の現況と対策	
第5章 普及啓発及び調査	128
第1節 自然保護の普及啓発	
第2節 野生動植物調査	
第6章 自然環境の健全利用	131
第1節 温泉	
第2節 県民の森等	
第3節 自然歩道等	

第5部 快適環境の現況と対策

第1章 自然景観	134
第1節 名水	
第2節 音風景	
第3節 かおり風景	
第2章 都市公園等	135
第1節 都市公園等の整備	
第2節 沿道修景等の推進	
第3節 緑地環境の整備	
第3章 文化財	138
第1節 文化財の概況	
第2節 天然記念物	
第3節 名勝	
第4節 史跡、重要伝統的建造物群保存地区及び重要文化的景観	

【 資 料 】

1	宮崎県環境基本条例	140
2	本県の環境関係行政組織	145
3	本県環境行政のあゆみ	151
4	環境関係用語の解説	162